



特集

森林の担い手を育てる 緑の雇用

森林で働きたい人たちを応援するのが「緑の雇用」事業。

今回の特集ではその具体的な取組について紹介します。

林業に必要な技術、技能が習得できる「緑の研修生」のこと、

就業までの流れ、3年間の研修内容、研修生たちの生の声も交えてお届けします。

「緑の雇用」とは？

国土面積の三分の二が森林で覆われている日本。美しく豊かな緑を守り、自然環境を保持していくため、地球温暖化防止のためにも、森林整備を推進していくことは重要な課題であり、そのためには林業の担い手を確保、育成していく必要があります。

近年の林業就業者の状況は、平成七年に約九万人いた就業者が平成一七年には約五万人となり、この一〇年間に四万人が減少しました。また、六五歳以上の高齢化率は二六％へと上昇しています。

こうした中、林野庁では森林で働く人々を応援すべく、平成一五年度から「緑の雇用担い手育成対策事業」を実施し、新たに林業で働きたいという人々が就業に必要な技術・技能の習得ができるよう、林業事業体に対するバックアップを行ってきました。自然の中で働きたい、美しい森林を次世代に受け継いでいきたいと考える若い後継者を応援するシステムが「緑の雇用」です。林業は、

多くの技術、技能を習得して、一人前になるまでに時間もかかり、また危険を伴うなど厳しさのある職業ですが、

森林は水をもたらす、土砂災害を防ぎ、木材を生み出すとともに、CO₂を吸収するなど地球規模での重要な役割を担っています。地域の中の人々と触れ合い、積極的に

に溶け込んでいく努力も欠かせませんが、すでに多くのUターン、Iターンの先輩たちが地域の活性化の牽引役となり、林業にたずさわりたいと考える新世代の模範ともなっています。

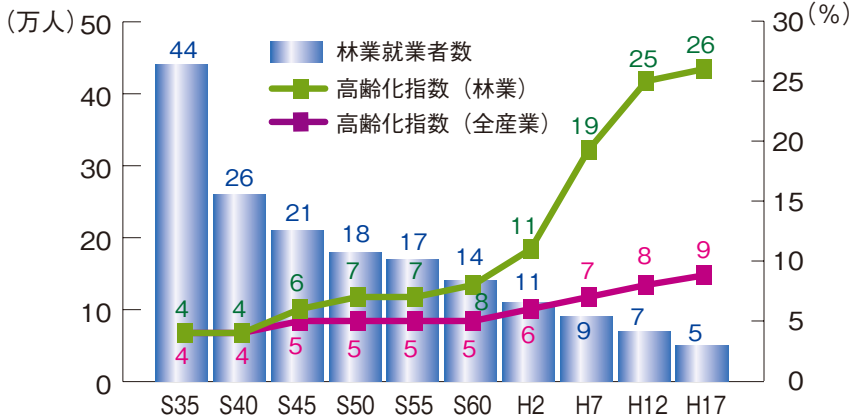
林業に新たに就業する人は、「緑の雇用」開始前は年間二〇〇〇人弱で推移

していましたが、「緑の雇用」事業の実施もあり、平成一五年度以降には大幅に増加しました。

当初、失業者対策として実施していた「緑の雇用」ですが、林野庁では平成一八年度から、さらに研修内

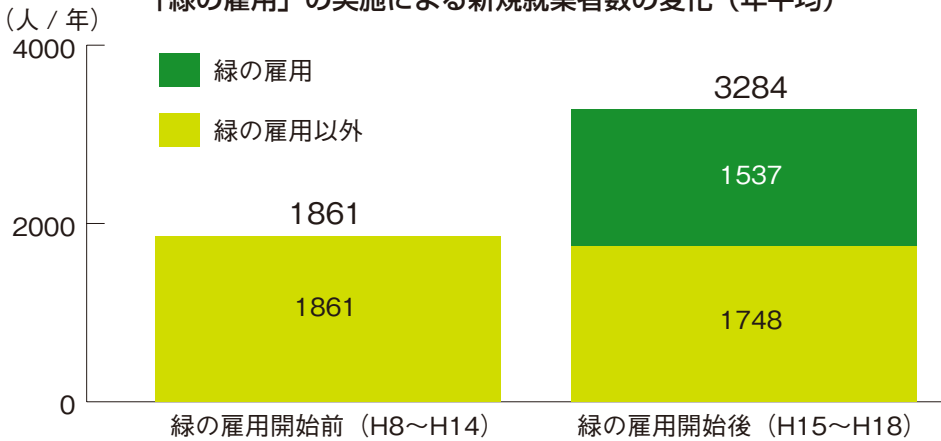
容を充実させた新たな「緑の雇用担い手対策事業」を実施し、森林の中で働く意欲を持った方を引き続き応援しています。

林業就業者及び高齢化比率の推移



資料：総務省「国勢調査」 注：高齢化指数とは、総数に占める65歳以上の割合

「緑の雇用」の実施による新規就業者数の変化 (年平均)



注：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

まずは相談

各都道府県によって状況が異なりますので、まずは全国主要都市で開催される「森林の仕事ガイダンス・共同説明会」(P9 参照) や、お近くの林業労働力確保支援センターにご相談ください。仕事内容に詳しいアドバイザーがお答えします。ただし、すべての都道府県が「緑の雇用担い手対策事業」を実施しているわけではありませんので、事前に希望地域の林業労働力確保支援センターなどで情報収集を行ってください。「森林の仕事ガイダンス・共同説明会」では各地域の林業就業に関する情報や「緑の雇用担い手対策事業」の実施に関する情報を提供していますので、希望地域のブースや研修生のブースなどで気軽な相談が可能です。また会場内では森林・林業に関する様々な資料を配布しており、林業を理解するためのビデオも鑑賞できます。



採用

ガイダンスで相談したり、ホームページで情報を収集し、森林で働くことに決めたら森林組合や林業会社などの事業体に就職します。「緑の研修生」になるためにはハローワークや林業労働力確保支援センター、学校などの公的機関を通じて就職することが必要です。就職先を探す場合にはハローワークの求人情報、林業労働力確保支援センターの委託募集情報、都道府県や市町村が行っているリターン、1ターンフェアなど希望地域の就業情報を収集し、林業事業体の求人をごまめにチェックしておきましょう。新しい森林の担い手になる道をまず開いていくことから始まります。

研修

就業する事業体が決まり、その事業体が「緑の雇用担い手対策事業」の助成を受けて研修を実施することになったら、「緑の研修生」として研修を受講し、多様な技術・技能を身につけ、森林の保全と整備作業のプロフェッショナルを目指していきます。「緑の雇用担い手対策事業」の特徴は、事業体に就業して日々の仕事を行う中で、事業体の先輩などから基本動作を習い、林業に必要な基礎的な知識と技術を取得するOJT研修であることです。具体的には林業で働くために必要な基礎を習得する1年目研修、風倒木・かかり木処理などのより高度な技術・技能を習得する2年目研修、低コスト作業システムによる効率的な施業に必要な技術を習得する3年目研修があります(P7 参照)。



地域に定着

研修修了者は、地域に定着して本格的に森林の担い手として活躍することになります。健全な森林を育てると同時に地球温暖化を防ぎ、山村を元気にする仕事です。

森林で働きたいという意志を持っていても、経験がなく、実際にどうすれば林業に携われるのか？という疑問を持っている人も多いかもかもしれません。ここでは森林で働くまでの流れを順を追って紹介していきます。どの場所で相談し、どこで雇用先を探したらいいのか、どのような研修があるのかなど、就業までのプロセスを追っていきましょう。